

にかほ

福祉だより

第48号

平成27年6月15日

基本理念

「安心して暮らせる福祉のまちづくり」に自覚と誇りをもって行動しよう

編集発行

社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会

秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1

TEL 0184-32-3020 FAX 0184-37-2852

ホームページ <http://nikaho-shakyo.jp>



40名が元気に交流！！

「ふれあいデイサービス」開催

5月27日（水）元気百歳館にて、象潟地域と金浦地域の合同による「ふれあいデイサービス」を開催しました。

地域を越えた幅広い交流を目的に、タオルを使った体操や、ペットボトルと割り箸を使用したゲームを通して交流を深めました。ゲームは、地域混合4チームに分かれ実施。「がんば〜れ、がんば〜れ！」と声援を送りながら楽しく競い、部屋中に笑い声が響き渡るほど盛り上がりました。

も く じ

- P2・3 … 平成26年度事業報告及び収支決算
- P4 …… 社協会費及び日赤社資のお願い
- P5 …… にかほ市の現状から =シリーズ5 =
- P6 …… 各支所事業紹介
- P7 …… お知らせ（ふれあい相談日 他）
- P8 …… 善意ありがとうございます、みんなの窓口
東日本大震災義援金一覧 他

平成26年度 社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会 事業報告及び収支決算

平成26年度 社会福祉法人 にかほ市社会福祉協議会事業報告及び一般会計収支決算につきまして5月22日（金）理事会において承認を得て、5月28日（木）評議員会にて議決されました。

事業報告 (主なもの)

- ◆ ⇒ にかほ市からの受託事業及び補助事業です。（一部受託含む）
- ⇒ 赤い羽根共同募金配分金を活用して実施している事業です。（一部活用含む）

1. 住民参加で支え合う地域福祉活動の活性化を目指しました

- ◇ 町内会長・民生児童委員・福祉員合同懇談会
- ◆ 高齢者等声かけ見守り巡回事業
- ◇ 地域内交流助成金事業
- ◇ 住民座談会 ◇ 福祉員研修会
- ◇ 防火査察 ◆ ● 手話事業



● 災害ボランティア研修会
 （災害に備え地域の地図にマーキング）
 3月11日、防災意識向上を目的に開催し55人が参加しました。



● サマーボランティアスクール
 （小出保育園／園児との交流・お世話）
 夏休み期間に小中学生延べ371人が体験活動をしました。

◇ 老人クラブ連合会三支部意見交換会
 （板垣社協会長より社協の協力体制強化宣言）
 老人クラブ活動の活性化を目指して6月5日、市内三支部の老人クラブ連合会役員及び市役所、社協の関係職員を対象に意見交換会を初開催し、総勢25人が参集しました。

2. 健康と生きがい、仲間づくりの活動を推進しました

- ◆ 生きがいと健康づくり推進事業（ミニデイサービス）
- ◆ 見守りネットワーク形成（配食）事業
- ◆ 外出支援事業
- ◆ 障害者（児）日中一時支援事業
- ◆ 老人福祉センター運営管理事業
- ◆ 元気百歳館運営管理事業
- おもちゃライブラリー
- 各種団体への助成・協力
- ふれあいデイサービス
- シルバー健康推進事業
- シルバー料理教室



● ふれあい交流会
 （象潟地域／歴史民俗学習館（遊佐町）見学）
 一人暮らしや高齢者世帯等を対象に、地域ごとに1回ずつ開催し延べ167人が参加しました。



◆ 家族介護教室
 （介護のプロより体位交換のコツ伝授）
 在宅で介護している方を対象に、リフレッシュを兼ねた介護教室を3回開催し延べ27人が参加しました。



● 雪国高齢者の健康づくり事業
 （西中野沢自治会／軽体操で体力維持）
 冬期間、各地域で高齢者を対象とした健康教室やレクリエーションを行い延べ85人が参加しました。

3. 福祉サービス利用者の保護と相談支援体制の強化に努めました

- ◇ ふれあい福祉相談所事業
 弁護士や司法書士による専門相談、社協に寄せられた一般相談や介護相談等、合計474件に対応しました。
- ◆ 行旅人等法外援助事業



- ◇ 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
- ◇ たすけあい資金貸付事業
 生活等のつなぎ資金として43件新規に貸付しました。
- ◇ 生活福祉資金貸付事業



4. 安心・安全で質の高い在宅介護サービスの提供に努めました

- ◇居宅介護支援事業
- ◇通所介護事業（介護予防含む）
- ◇短期入所生活介護事業（介護予防含む）
- ◇すこやか家事援助事業

支援依頼があった21人の方に対し延べ91回、家事援助サービス等を提供しました。



- ◇訪問介護事業（介護予防含む）
- ◇訪問入浴介護事業（介護予防含む）
- ◇障害者総合支援法居宅介護等事業
- ◆介護予防ケアマネジメント
- ◆要介護認定調査事業
- ◆生活管理指導員派遣事業
- ◆安心生活見守り支援事業
- ◆住宅改修支援事業



5. 法人運営や経営基盤の強化と人材育成を推進しました

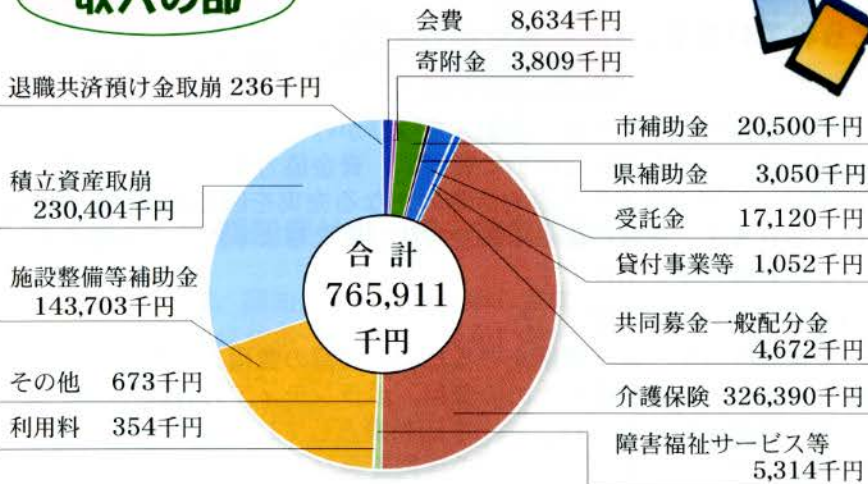
- ◇理事会
- ◇正副会長会議
- ◇在宅福祉部会
- ◇管理職会議
- ◇内部検査
- ◇ホームページの公開
- ◇評議員会
- ◇総務部会
- ◇広報委員会
- ◇係長会議
- ◇介護職員研修
- ◆共同募金委員会理事会
- ◇監査会
- ◇地域福祉部会
- ◇ボランティアセンター運営委員会
- ◇職員会議
- ◆福祉だよりの発行
- ◆共同募金委員会監査会

一般会計収支決算（資金収支決算書）

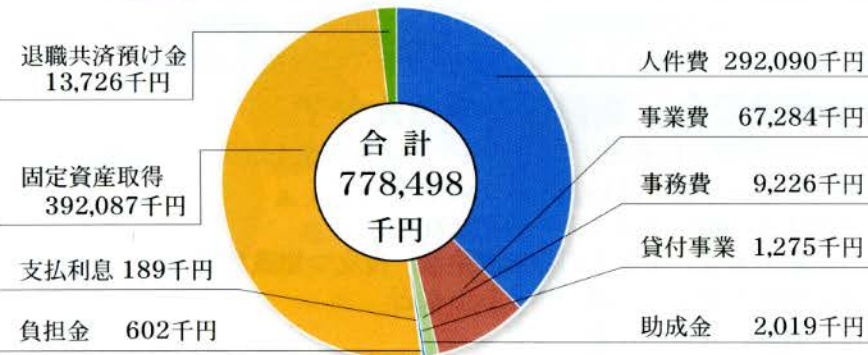
収入総額 765,911,000円
 支出総額 778,498,000円
 収支差額 -12,587,000円



収入の部



支出の部



科目	決算額 (千円)
会費	8,634
寄附金	3,809
市補助金	20,500
県補助金	3,050
受託金	17,120
貸付事業等	1,052
共同募金一般配分金	4,672
介護保険	326,390
障害福祉サービス等	5,314
利用料	354
その他	673
施設整備等補助金	143,703
積立資産取崩	230,404
退職共済預け金取崩	236
合計	765,911

科目	決算額 (千円)
人件費	292,090
事業費	67,284
事務費	9,226
貸付事業	1,275
助成金	2,019
負担金	602
支払利息	189
固定資産取得	392,087
退職共済預け金	13,726
合計	778,498

＝ にかほ市社協より ＝ 社協会費納入のお願い

にかほ市社会福祉協議会の活動は
市民の皆様により支えられています。



社会福祉協議会（略して「社協」）は、住民主体の地域福祉を推進する民間団体です。地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現をめざし事業を展開しています。地域に根ざしたさまざまな地域福祉活動を推進するため、ほとんどの市町村社協では地域の皆様より会費を納入していただき、それを貴重な財源として事業実施に取り組んでいます。にかほ市社協でも、一般世帯の皆様より「一般会員」、会社や企業、商店等の皆様から「特別会員」になっていただき、会費を納金していただくことで社協運営の一員となりご協力を賜っております。



平成26年度の社協会費納入額は、一般会費7,668,630円、特別会費965,000円でした。今年も6月より、自治（町内）会のご協力を得て一般世帯を対象に「一般会費」の納入をお願いしております。また、社協役員が市内の会社や企業、商店等をまわり「特別会費」のお願いに伺っております。皆様からいただいた会費は、法人運営事業の貴重な財源として、そして各種事業の活動資金として有効に活用させていただくほか、地域住民の皆様へは「にかほ福祉だより」の発行を通して福祉に関する情報の提供や慶弔時の電報、り災時のお見舞金などを通して還元してまいります。趣旨をご理解いただき、ご支援ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

赤十字活動は、社員となった 市民の皆様により支えられています。



日本赤十字社
公式マスコットキャラクター
「ハートラちゃん」

日本赤十字社では、社員増強運動として社員への加入を呼びかけております。日本赤十字社の社員とは、赤十字の人道的な活動に賛同し、資金協力をしていただく方のことです。秋田県支部では、不測の災害や人道的活動の更なる充実を図るため700円以上の資金協力を呼びかけております。地域によって集金方法が異なりますが、ご理解の上ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年度のにかほ市の実績は、日赤社資5,360,850円でした。

このお金は秋田県支部へ送金され、災害救護活動、命と健康を守るための講習の費用、市町村への災害救護車・発電機・炊き出し用炊飯器・AEDなどの配備のための費用、ボランティアの育成にかかる費用などとして活用されます。また一部（実績の約17%）は、赤十字活動費としてにかほ市へ還元され火事や風水害により、り災した方々へのお見舞金や、赤十字奉仕団の活動資金などに充てられます。



1. あなたも「赤十字奉仕団」に加入しませんか？

県内には地域で活躍する赤十字奉仕団が54団体あります。にかほ市にも各地域に組織され“赤十字のボランティア活動を通して、地域社会を住みよくしよう”という気持ちを持って活動しています。団員は随時募集しております。入団を希望される方は、各支所までご連絡下さい。

2. 自治会や町内会で「赤十字講習会」を開催しませんか？

日赤秋田県支部では、皆様から寄せられた日赤社資を活用して様々な講習事業を展開しています。

- ◆救急法…心肺蘇生法やAEDの使い方、けがの手当法など
- ◆水上安全法…水の事故防止、溺れている人の救助法など
- ◆幼児安全法…子どもの応急手当、子どもの心肺蘇生法、役立つ知識など
- ◆健康生活支援講習…高齢者の健康と安全、介護のポイントなど
- ◆防災啓発プログラム…炊き出し訓練、災害への備えなど

※ 詳細を知りたい方は、日赤秋田県支部（☎018-864-2731）または各支所までお問い合わせ下さい。

＝ 日赤秋田県支部より ＝ 日赤社資納入のお願い

～ 地域のために わたしたちができること ～

にかほ市の現状から

=シリーズ5=



このコーナーでは、市民の皆様へにかほ市の現状や身近な話題を紹介し地域の実情を知っていただき、一緒に『わたしたちのまちにかほ』を元気な街につくりあげていくことを目指します。

認知症高齢者数 10年後には推計700万人超え！ にかほ市の認知症事情を探る

「認知症…。皆様よく耳にする言葉ではないでしょうか？」

全国で認知症高齢者数は増加の一途をたどっており、にかほ市においても同じく右上がり状態です。今後ますます増加する認知症について、身近な話題と一緒に考えてみましょう。

トピック1 にかほ市の認知症推計

H27.5.31現在、にかほ市総人口26,199人。うち、高齢者人口（65歳以上）は8,677人。その中で、認知症予備軍が推計値で1,301人いるとされています。

認知症予備軍とは、認知症とは診断されていないが、本人や家族から物忘れの訴えがあったり、認知機能が低下しているなど、認知症の心配がある高齢者のことです。この認知症予備軍は高齢者人口の15%と言われてています。

にかほ市の高齢者人口は増加しています。それに伴い認知症高齢者もますます増加することが推定されます。



トピック2 身近な認知症実例

社協には、日々いろいろな相談が寄せられます。

ある日こんなことが…。

ある自治会の会長より「ごみステーションの前にずっと座り込んでいるおばあさんがいます。名前を聞いても家を聞いても分からないというので、社協に連れて行っていいですか？」との一報が入りました。連れてきてもらうと職員が知っていたおばあさん。自宅に送り届けると家族も心配しており、おばあさんの姿を見て、ほっと胸をなでおろしていました。夕方の出来事だったので、もう少し遅ければ一大事になっていたかもしれません。

認知症高齢者の約半数は、在宅で生活しています。そのため、地域で暮らす人々も認知症高齢者に接する機会が多くなっているのが現状です。「おや？」っと思ったら社協か市役所、または警察にご相談下さい。



トピック3 認知症サポーター養成講座

にかほ市では、認知症を正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り応援する「認知症サポーター養成講座」を行っています。

にかほ市社協では、市からの依頼により社協職員（キャラバンメイト養成研修修了者）が講師となり認知症サポーターの普及に努めています。講座の開催を希望される方は、各支所までお問い合わせください。



▲5月20日（水）象潟公民館主催で開催した講座の様子。受講した8名は、めでたく講座修了の証オレンジリング（写真丸囲み）をいただき、認知症サポーターとなりました。



認知症サポーターとは？

認知症の人の「応援者（サポーター）」のことです。特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。

H27.3.31現在、全国のサポーター数は 600 万人を超え、にかほ市では H27.5.31 現在 590 人がサポーターとして認知症の良き理解者となり地域を支えています。



◆ 認知症問題は奥が深い難題です。しかし、皆さんにも何かできることがあるのではないのでしょうか？ ◆

象潟支所

思いやりの心を大切に…14名が福祉を学ぶ 上郷小学校4年生「福祉学習」

5月28日(木)学校の依頼により、社協職員が福祉についての学習を行いました。あらかじめ「福祉」とは何かを自分なりに考えてくれていた子どもたちは、職員の話の聞きながら自分の経験談をもとに、大人には考えつかないような意見をたくさん出してくれました。

はじめは福祉について難しく考えていた様子の子どもたちでしたが学習が終わると「自分にできることが福祉につながるという事」、自分にできる事があったら積極的にやってみようと思う」などの声が多く聞かれ、とても有意義な時間となりました。



▲活発な意見が飛び交いました



▲職員作のイラストパネルを見て想像。「こんな時、あなたならどうしますか？」

金浦支所

美味しいお弁当をお届け

「見守りネットワーク形成(配食)事業」

金浦地域では、現在月3回の「見守りネットワーク形成(配食)事業」を5名の方が利用しています。社協職員が、安否確認を兼ねて一人暮らしや高齢者世帯等へ弁当をお届けしています。毎回、ほんの数分の訪問ですが必ず「ありがとう。」「どうもな」との心のこもった言葉をいただきます。福祉を感じる瞬間にこちらこそ感謝です。

利用を希望する方は、市役所に申請する必要がありますので、詳細は各支所までお問い合わせ下さい。

※「見守りネットワーク形成(配食)事業」は、市から委託を受けて行っております。



▲この日は、民生委員も同行して利用者を激励してくれました。お弁当は業者に依頼。掛け紙は各支所で手作りです。

仁賀保支所

5月末現在設置数、市全体で264世帯

「緊急通報システム事業」利用で一安心

にかほ市社協では、にかほ市で実施している「緊急通報システム事業」のお手伝いとして、取り付け時の立ち会い等を行っています。原則として一人暮らし世帯を対象としており、ボタン一つで消防署へ通報できる装置を設置し、万が一に備えられる体制を整備しているものです。急に体調が悪くなった際電話番号を押す必要がないので心強い味方です。

5月22日(金)民生委員も見守る中で、小国の3世帯へ設置しました。工事後、実際に試験運転をして装置の使い方を確認。「ここ押すだけでいなな。」と驚きながらも大変喜ばれておりました。



▲非常ボタンを押すだけで消防署へ通報できます。



▲直接、会話する事もできます。

お知らせ

「住民座談会」を開催しませんか

にかほ市社会福祉協議会では、自治（町内）会や老人クラブ等の依頼により、役職員が地域に出向いて「住民座談会」を開催しています。

開催日時は可能な限りご要望に応じ対応致します。まずはお気軽に各支所までお問い合わせください。

【内容例】

- ◆ 社会福祉協議会の事業について
- ◆ 介護保険制度について
- ◆ 各種サービスの利用方法 など



▲4月23日（木）畑老人クラブ天寿会の依頼により板垣社協会長が講話しました

「ふれあい相談日」のお知らせ

○ 無料法律相談

- 日時** ①7月13日（月）午後1時～4時
 ②8月10日（月）午後1時～4時
 ③9月14日（月）午後1時～4時
- 場所** ①③象潟支所（老人福祉センター）
 ②仁賀保支所（スマイル）
- 担当** 平野一史 弁護士
- 申込先** ①③象潟支所（☎43-2543）
 ②仁賀保支所（☎32-3010）
- 定数** 各日、6名（先着順）【要予約】

○ 無料登記相談（相続等）

- 日時** ①7月9日（木）午後2時～4時
 ②9月10日（木）午後2時～4時
- 場所** 金浦支所（元気百歳館）
- 担当** ①佐藤清夫 司法書士
 ②渡辺嘉宏 司法書士
- 期限** ①7月7日（火）【要予約】
 ②9月8日（火）【要予約】
- 申込先** 金浦支所（☎38-2375）

○ 一般相談（生活・介護相談）

各支所にて、随時（土・日・祝日含む）職員が対応します。但し、仁賀保支所はスマイルの休館日（火曜日）が祝日の場合は休業します。

* 相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

「おもちゃライブラリー」開催



にかほ市社会福祉協議会では、子ども同士、保護者同士の交流や情報交換を目的に「おもちゃライブラリー」を開催しています。

象潟会場

- ◆ 期日 7月30日（木）
8月12日（水）
- ◆ 時間 午前10時～
午前11時30分
- ◆ 会場 象潟保健センター



金浦会場

- ◆ 期日 7月8日（水）
8月26日（水）
- ◆ 時間 午前10時～
午前11時30分
- ◆ 会場 金浦保健センター

仁賀保会場

- ◆ 期日 毎月第1・3木曜日
- ◆ 時間 午前10時～午前11時30分
- ◆ 会場 フェライト子ども科学館



参加費無料。
申し込みも不要です。
おもちゃを多数準備してお待ちしています。
お気軽にお越しください。

「軽トラック貸出」どうぞご利用下さい

にかほ市社会福祉協議会では、住民が主体的に高齢者等への支援を行う活動のために、自治（町内）会や地域住民等に対して軽トラックを貸出しています。

この軽トラックは、平成23年度、地域支え合い体制づくり事業を利用して整備しました。春先は引っ越し等の荷物運搬、冬場は雪投げに大活躍です。

貸出料は無料ですが、保険料として1日200円の支払いをお願いしています。申請書や運転免許書のコピーの提出等が必要ですので、詳細は各支所までお問い合わせ下さい。



▲車輛はオートマで4WDです



ありがとう



(5月31日現在)

◎香典返しとして金一封のご寄付をいただきました

・櫻山金太郎様	(大森)
・巴朋之様	(小滝)
・土門賢一様	(下荒屋)
・齋藤英一様	(横岡)
・畑中功実様	(大砂川)
・平澤実子様	(桜ヶ丘)
・佐藤陽樹様	(新丁1区)
・渡辺秀樹様	(堀切区)
・齊藤徳良様	(新丁1区)
・荒川武道様	(芹田)
・佐々木道子様	(室沢)
・細矢芳雄様	(院内)



あたたかく見守り中!

福祉交流施設「たんぼぼ」に幸せ運ぶ小さなお客さんがやってきました。

昔から、ツバメが巣をかける家は縁起がいいと言われています。

オープンして半年。たんぼぼにとっては嬉しい事。

職員一同、利用者と一緒にヒナの誕生を今か今かと待っています。

=ツバメメモ=

ツバメは、家の軒下やガレージの中など一目につきやすい所に巣を作ります。カラスやヘビなどの外敵から身を守るため、人間をガードマン代わりに利用しているのです。

弱い立場のツバメ。福祉に携わる私たちに、身の安全の確保をお願いしたのかもしれない。



元気に巣立ってゆ

◎社会福祉に役立てて下さいとご寄付をいただきました

・上浜中学校第五期生様	4,088円
・勢至クラブ集和会様	10,000円
・象潟町野草の会様	10,000円
・金子美枝子様 (室沢)	3,000円
・佐々木悦子様 (平沢)	3,000円
・佐藤エイコ様 (石田)	2,065円

◎社会福祉に役立てて下さいと物品等のご寄付をいただきました

・佐々木由廣様 (中橋町)	紙オムツ多数
・重見正子様 (横岡)	紙オムツ多数
・池田昭一様 (武道島2区)	福祉用品多数
・匿名様	紙パンツ1袋
・匿名様	紙オムツ2袋

東日本大震災義援金

(5月31日現在)

●日本赤十字社へ *掲載希望者のみ

・ピフレにかほ店お客様御一同様	6,546円
■にかほ市役所受付累計金額	7,054,334円
■にかほ市社会福祉協議会受付累計金額	2,346,086円



数字で見るにかほ市

(平成27年5月31日現在)
前号(3/31)比

人口	26,199人	(-62人)
世帯数	9,449戸	(+12戸)
65歳以上	8,677人	(+27人)
高齢化率	33.1%	(+0.2%)

総務課

〒018-0402
秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1
にかほ市総合福祉交流センター「スマイル」内

TEL 0184-32-3020
FAX 0184-37-2852

※ 場所は仁賀保支所と同じスマイル内にあります

福祉交流施設 たんぼぼ

〒018-0411
秋田県にかほ市院内字畑ヶ田21-1

TEL 0184-74-6100
FAX 0184-74-6103

◆ 介護保険事業所 ◆

- ◇ にかほホームヘルプ事業所
- ◇ にかほ市サービスセンター
- ◇ ショートステイたんぼぼ

みんなの窓口

介護に関する事
ボランティアに関する事など
どんな事でもお気軽にご相談下さい

* 相談された内容は、個人情報保護法に基づき秘密を保持します

象潟支所

〒018-0101
秋田県にかほ市象潟町字浜山121-2
「にかほ市老人福祉センター」内

TEL 0184-43-2543
FAX 0184-43-6071

◆ 介護保険事業所 ◆

- ◇ 象潟居宅介護支援事業所
- ◇ 象潟ホームヘルプ事業所
- ◇ 象潟訪問入浴介護事業所

◆ ボランティア ◆

- ◇ 象潟ボランティアステーション

金浦支所

〒018-0311
秋田県にかほ市金浦字金浦321-1
介護予防拠点施設「元氣百歳館」内

TEL 0184-38-2375
FAX 0184-38-2376

◆ 介護保険事業所 ◆

- ◇ 金浦居宅介護支援事業所
- ◇ 金浦ホームヘルプ事業所

◆ ボランティア ◆

- ◇ 金浦ボランティアステーション

仁賀保支所

〒018-0402
秋田県にかほ市平沢字八森31番地の1
にかほ市総合福祉交流センター「スマイル」内

TEL 0184-32-3010
FAX 0184-37-2800

◆ 介護保険事業所 ◆

- ◇ にかほ居宅介護支援事業所

◆ 自立相談支援事業 ◆

- ◇ にかほ市総合生活相談室
TEL 0184-33-6155 (直通)

◆ 計画相談支援事業 ◆

- ◇ 障がい相談支援センター「みずばしょう」

◆ ボランティア ◆

- ◇ 仁賀保ボランティアステーション

「にかほ福祉だより」は、赤い羽根共同募金配分金や社協会費の一部を活用して発行しております